

2020 年度

「広島県内公的病院幹部を対象とした病院経営持続性を高める医療経営人材養成プログラム」を企画・運営・開催

広島県から委託を受けて「広島県内公的病院幹部を対象とした病院経営持続性を高める医療経営人材養成プログラム」を企画・運営・開催いたしました。

同プログラムは、座学と演習・グループ討議によるオンライン講義日7回と感染対策を施した県立広島大学大講義室における講義日3回を組み合わせたスクーリングを10月17日から2月20日の間、毎週土曜日10:30～17:50(4講義/回)、全10回を実施するもので、プログラム終了後に参加者全員に履修記録を載せた受講証明書と修了書を発行して完了いたしました。

内容は、公的病院の幹部およびその候補となる方に向けて、医療経営を医療におけるヒト・モノ・カネ・情報といった資源のやり繰りと説明する体系的な講義プログラムを編集し、政策や経営に詳しい実務家教員や実務家を揃えた講師編成とすることにより、公的病院の経営陣に加わるのに必要な学びと考え方のトレーニングの機会を提供しました。

本プログラムには、院長、副院長、看護部長、事務長・事務部長、課長など25名が参加されましたが、特筆すべきこととして、受講された公的病院幹部の皆さんはこのたびのコロナウィルス災禍の中で厳しい医療の仕事に従事されているにもかかわらず真摯に受講を続けられ、とくに院長・副院長を中心に受講者の半数の方が皆出席されました。「公的病院幹部が一堂に集って経営を学ぶ場が必要」と信じてこの企画を推進した私どももたいへん勇気づけられました。

< 本プログラムの構成と目的 >

- | | | |
|---|----------------------|--|
| 1 | 医療経営リテラシー
(8講義) | 公的病院における経営陣に就くにあたり、経営なるものの考え方や心構えに役立つ教養を身につける。 |
| 2 | 医療経営の原理
(8講義) | 国民皆保険制度のもとで医療介護保障を持続させるために制度経営を行う国の諸政策の動向を理解して、今後の医療経営に生かす術を身につける。 |
| 3 | 医療の事業経営論基礎
(24講義) | 公的病院における経営陣に就く人材を養成するために医療事業の経営管理に役立つ知識と考え方を身につける。 |



第1回講義風景



第10回講義風景

< 参加者の声～学びのレポートよりご紹介～ >

- 病院長 体系化された講義の中で、医療知識、医療システムと経営知識の両方を兼ね備えたπ(パイ)型人間の必要性を強く感じた。
- 副院長 経営指標やマネジメントの基礎が理解でき、今後の病院の進むべき方向性が明確になった。
- 看護部長 経営幹部として経営の状態を分析し、医療の質の担保をしつつ、どこまでを経営目標にして向かっていくのかを明確にするために、病院の事業ドメインの見直しが重要であると感じた。
- 事務長・事務部長 今後の医療は幅広いテーマを扱う必要があり、職員の人材育成をこれまで以上に進めていかないと病院運営において大きく後れをとることになると思う。